

らい 来ぶらり57

《図書館の情報化》

図書館長 森田道也（経済学部教授）

学習院大学図書館も世の中の情報化社会への動きと呼応して動いてきました。たとえば、学生がパソコンを携帯して図書館で学習したり、データを打ち込んだり、加工することができます。台数はそれほど多くありませんが、ノート型パソコンの貸し出しも始まります。統計表を見ながらパソコンにそれをじかにメモしたり、保存できるわけです。

外部の図書館とのリンクも進展しています。アメリカの議会図書館にもアクセスできます。たとえば、国内では学術情報センターに加盟している約390の大学、さらにはインターネットに接続している大学ともリンクできます。そばに図書があるというのも便利ですが、すべての図書を所蔵しているのは無理です。世界中の図書館とリンクして情報や資料を探索できる能力を養っておく

ことは図書館にとって欠かせません。また利用者も本学の図書館だけではなく、国内外の図書館を利用する術を心得ておくことは必要でしょう。

大学内には大学図書館以外に法学部と経済学部の合同の法経図書センター、文学部の各学科研究室、理学部の各図書室があります。大学図書館は全学生に共通する蔵書をとくに強調しています。各学部や学科にはそれぞれの専門に特化した蔵書があります。それらの蔵書は共通のデータベースに順次登録されています。

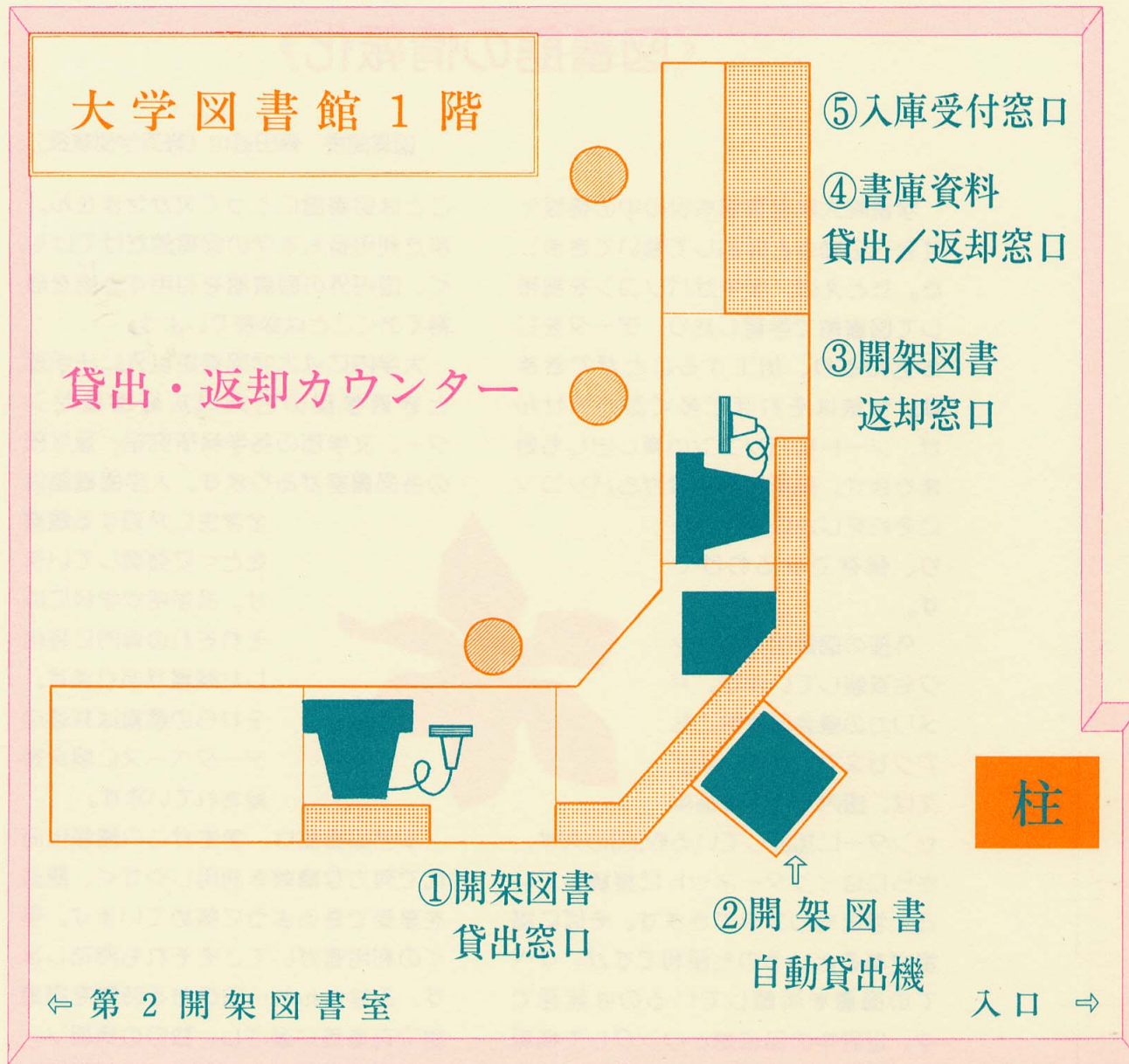
本学図書館は、学生がこの情報化時代で有力な情報を利用しやすく、便益を享受できるように努めています。多くの利用者がいてこそそれも開花します。みなさんも一日のある時間を図書館で有意義に過ごし、独自の情報ソースを豊富にしてください。



コンピュータ貸出開始！！

— あなたの学生証で図書が借りられる —

平成9年4月、大学図書館が変身する。サービス形態の変身である。
1階の《貸出・返却カウンター》と3階の《コンピュータ利用閲覧室》が焦点となる。
ここでは、《貸出・返却カウンター》の変身ぶりを紹介する。



「ピッ」「ピッ」の仲間入り

これまで大学図書館で図書を借りる時、図書の冊数分〔館外借用証〕を記入しなければならなかった。“1冊ごと列々に記入してください”と指示され、“今時何だ！”と憤慨した人も多いのではないかと思う。しかし、大学図書館もいよいよコンピュータ貸出を開始する。

院内でも法経図書センター、女子短期大学図書館では、学生証（短大生は磁気タイプの利用証）1枚で「ピッ」「ピッ」と図書が借りられる。確かに「今時」の図書館（公共/大学など館種を問わず）は、図書に限らず視聴覚資料も「ピッ」「ピッ」と借りられる。ようやく、大学図書館も「今時」に追いついた。

大学図書館のシステムは、女子短期大学図書館のシステムと同一である。一つのシステムを複数の機関で共用する。これにより【貸出中】【予約中】などの情報も、機関をこえて検索・確認することができる。

当面は、開架図書の貸出のみをコンピュータ処理する。書庫の図書や雑誌は、今までどおり手書きの〔館外借用証〕を使用するが、将来は書庫の資料もコンピュータ貸出する計画である。

気軽に自分で貸出OK！

あなたは、もう窓口に行かなくても〈貸出〉〈貸出更新〉の手続きができるようになる。日頃使い慣れている銀行のCDやATMのように、人の手を介さないサービス、その図書館版が《自動貸出機》である。貸出業務のコンピュータ化で遅れをとった分、サービスに新しい趣向を凝らした。夏までには運用する予定で準備を進めているので、もうしばらくお待ち願いたい。

〔窓口の紹介〕

- ①開架図書貸出窓口：開架図書室の図書について、主に〈貸出〉〈貸出更新〉などの手続きを行う窓口。
- ②開架図書自動貸出機：開架図書室の図書について、〈貸出〉〈貸出更新〉の手続きを自動で行う機械。
- ③開架図書返却窓口：開架図書室の図書について、主に〈返却〉〈予約〉などの手続きを行う窓口。
- ④書庫資料貸出/返却窓口：書庫にある図書・雑誌の〈館内閲覧〉〈貸出〉〈貸出更新〉〈返却〉〈予約〉などの手続きを行う窓口。

*専用の利用証を必要とする。〔館外借用証〕等に所定の事項を記入して手続きを行う。

- ⑤入庫受付窓口：書庫へ入るための手続きを行う窓口。

*ノート型パソコンの貸出や《コンピュータ利用閲覧室》（3階）の利用手続きなども行う。

（総務課電算係 入村和彦）

お知らせ

I 図書・雑誌を借りるには(冊数・期間)

	1階開架図書		書庫資料		雑誌※	
	冊数	期間	冊数	期間	冊数	期間
大学院生	5冊	2週間	10冊	1ヵ月	書庫資料の冊数に含む	1週間
学部生 短大生 高等科生 本学卒業生	5冊	2週間	10冊	2週間		

※雑誌(逐次刊行物)は、2階雑誌室と書庫にあります。ただし、2階雑誌室の最新号は貸出の対象になりません。

II 図書・雑誌を閲覧するには

1階開架図書室、2階雑誌室・参考図書室の図書と雑誌は、手続きせずに図書館内で自由に閲覧することができます。書庫の図書と雑誌は1階カウンターで手続きをしてください。

III 書庫へ入るには

大学院生は、学生証を提示すれば書庫に入って図書と雑誌を閲覧することができます。学部生でも論文・レポート作成などで必要がある場合は、所定の手続きをすれば書庫に入ることができます。1階カウンターで申し込んでください。

☆ 上記のサービスは、平成9年度試行として実施いたします。場合によっては、見直しをすることがあります。

新入生へ

図書館では、今年度から1階の開架図書を機械貸出するなど、新しいサービスを始めました。

本の借り方、資料の探し方その他何でも図書館員におたずねください。図書館を上手に使って、学生生活をよりよいものにしてください。



来ぶらり No.57 1997年4月1日発行

発行責任者：森田道也 編集委員：石井博幸 富田正貴

学習院大学図書館 〒171 東京都豊島区目白1-5-1

☎03(3986)0221